図書館だより

2022年 天理高校図書館 6月 June

★ユニーク地図で新たな発見

現在公開中の映画「大河への道」は、立川志の輔さんの落語『伊能忠敬物語…』を基に作られた歴史ドラマです。

（あらすじ）千葉県香取市役所で、伊能忠敬を主人公にした“大河ドラマ”で観光促進をしようと、プロジェクトが立ち上がります。しかし、脚本作りの最中に、伊能忠敬が地図完成の３年前に亡くなっていた事実が発覚。伊能忠敬の遺志を継いだ弟子たちの物語が紐解かれていくという物語です。主演は、中井貴一さんで、令和と江戸のどちらの物語にも登場する二役を演じておられます。

現在、世界には色々な地図が作られています。意外な切り口で物事の見方が変わるもの、工夫した見せ方でわかりやすいものなど、個性的な地図がたくさんあります。天高図書館にある、個性的でおもしろい地図を紹介します。

★1年生図書委員会からの「おすすめ本」特集!!

４月14日に第1回図書委員会を開催しました。活動内容は、「おすすめ本紹介」でした。委員の皆さん、ご協力ありがとうございました。

「おもしろ地図」特集

『JPN47 にっぽん絵図』

タケムラナオヤ 著　講談社

書名はちょっとふざけていますが、47都道府県の名産品や、景勝地などを知るにはとてもわかりやすい本です。

『こんな世界地図みたことない』

リサ・スワーリング，ラルフ・レイサー 著　化学同人

大陸ごとの頁になって、地形の特徴や国境が分かりやすく書かかれています。その大陸ごとに、折りたたみページがあり、それをめくると国々の特徴が書かれています。各ページにかくれている、ヒラメキくんを探しながら地図を眺めてください

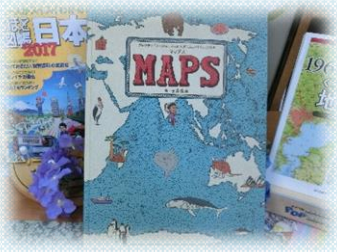
『地球の今と歴史がわかるビジュアル世界大地図』

佐巻健男 監修　日東書院

山、火山、海底、貧困、エネルギー等のテーマで、見開き１ページの世界地図が描かれています。再生可能エネルギーの生産第1の国はどこでしょうか？（答えは、本の中に!）

『マップス』

アレクサンドラ ミジェリンスカ 著　徳間書店



ポーランドの絵本作家夫婦が、その国の食べ物、歴史的な建物、偉大な人物、動物、植物などをかわいいイラストにして、すべてのページに、ぎっしりと書いた地図帳です。どのページをめくっても楽しめる本です。

『1964年と2020年を比べて楽しむ地図帳』

松井秀郎 編著 山川出版社

書名の通り、今から約 60 年前の地図と今を比較しています。日本が大きく変化をしていく、before after を知る事ができる本です。

図書委員からのおすすめ本①

『空飛ぶ広報室』 有川浩 著 幻冬舎

自衛隊広報室の日常がわかる小説です。普段は目立たない影のような立場の仕事ですが、縁の下の力持ちのような存在であると、この本を読んで知りました。ドラマにもなり、とても印象に残った作品です。

『Another 2001』 綾辻行人 著

1998年に起こった悲劇がまた?!3年前の悲劇を繰り返さない為に、卒業をひかえた 3 年生が問題解決に取り組む物語です。ミステリーが好きな人は、ドキドキしながら読んで欲しいです。

『わたしの心のなか』

シャロン・M. ドレイパー 著　鈴木出版

脳性麻痺の子どもを持つ作家によるオリジナルストーリーです。心に残る言葉がたくさんあり、とても感動します。本をあまり読まない人でも、読んでいると、最後まで読みたくなるお話しです。

『ふまんがあります』

ヨシタケシンスケ 著　PHP研究所

ずっと不満に思っていること、「おとなはいろいろずるい!」ということ。その不満をお父さんにぶつけた時の、お父さんの返事が最高です。お父さんもだまっていません。「こどももずるい!!」という逆襲。これに対する子どもの言葉に、「きゅん」としました。ヨシタケさんの優しさを感じます。

『かがみの孤城』 上・下

辻村深月 著　ポプラ社

同級生からいじめを受けて、部屋に引きこもる生活を続けていた女の子が自宅の鏡の中に入り、自分と同じ境遇の中学生６人と出会う物語です。

主人公の「こころ」と周囲の人との深い心理描写が印象的です。違う世界の人と関わることで希望を感じていくところや、張り巡らされた伏線の回収方法がとても驚きで、この作品のおすすめポイントです。人間関係が上手くいってなくて、悩みのある人に読んでほしいです。読み終わった後に、きっと心が軽くなると思います。

『はらぺこあおむし』

エリック＝カール 著　偕成社

自分が覚えている読書体験の中で、最初に感動した本が、この本でした。毎日、たくさん食べて、どんどん大きくなって、最後にきれいな蝶になる。生命力のあるあおむしにワクワク、ドキドキしながら読んでいた、子ども時代を思い出しました。

『たいのおかしら』 さくらももこ 著　集英社

さくらももこさんのエッセイ集。一つ一つの話しは、短いので、短時間で読み終わります。落ち込んだ時や、元気がない時に読むと、元気づけられると思います。読書があまり好きではない人が、無理なく、楽しんで読める本です。

今回、掲載できなかった図書委員の方の「おすすめ本」は、次回以降の図書館だよりで紹介していきます。お楽しみに!!